

1 請願の要旨

「町を発展させようとするならば、地元の歴史に学べ」とよく言われている言葉です。この言葉のとおり大河原町を更に発展させようとするには、大河原町の歴史を知り、そしてそれをどのように発展に繋げるか真剣に考えなければなりません。そのためには、歴史に専門的な知識を持ち、発展に繋げる能力を持つ学芸員の存在が必要です。その学芸員を役場内に配置することを切に要望します。

2 請願の理由

町の歴史を町の活性化に繋げる市町村は決して少なくはありません。近隣の市町村を例に取ってみると、白石市や蔵王町では真田幸村の子どもが片倉家に預けられたことを大々的に取り上げて観光の目玉にしています。

村田町では古い蔵を味方にして、伝統的建造物群を国の指定をうけて町発展の柱に据えています。柴田町では桜を、七ヶ宿では街道を、角田市、丸森町は城下町をと、それぞれに郷土館的な建物を拠点にして町発展へ繋げています。その推進役の一人に、歴史に専門的な知識を持つ「学芸員」と言われる職員の存在が見逃せません。大河原町にも桜の他に、江戸時代以降の古文書や書画、人物では全国的に知名度の高い詩人佐藤佐太郎や尾形亀之助がいます。また建物では、江戸時代に建てられた大高山神社、県内では類を見ない程の建築技術や吟味された材料で建てられた佐藤屋の邸宅などなど、決して少なくありません。

これらを町発展に結び付けない手はありません。そのためには、歴史の専門家である、文化遺産を町発展に繋ぐための推進役になる「学芸員」を役場内に配置して、活力ある大河原町にされることを切に要望するものであります。

以上のとおり請願いたします。